

イスターカーテン ミュート 扉

取付説明書

このたびは、TOKOの商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立てや取り付けには、この説明書をお読みになり、正しく美しく仕上げてください。
ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたって必ずお守りください。

■工事店様へのお願い

同梱されている取扱説明書は、必ず施主様にお渡しください。

——目次——

□施工上の注意事項	P 2
□必要工具類の確認	P 2
□基本納まり(片引き・引分け)	P 3
□梱包内容	P 4
□取り付け手順	P 4
1 障子の吊込み	P 5 ~ 10
■ 扉の構成	P 5
■ 障子の構成	P 5
■ 取り外しレールの取り外し	P 6 ~ 7
■ 障子の吊込み	P 8
■ 取り外しレールの取り付け	P 9
■ 障子の連結	P 10
2 吊元ストッパーの調整	P 11
3 上枠固定金具位置の調整	P 12
□施工後の点検	P 12

□施工上の注意事項

- ① 各部材の組み立て・取り付けは、取付説明書通り確実にこなってください。
- ② ねじ止め箇所は、指示してあるねじをすべて確実に締めてください。
- ③ 指定の部品以外は使用しないでください。
- ④ 枠の内法寸法を十分確認してください。
- ⑤ アルミ部材の腐食防止のため、以下の点に注意してください。
 - (1) 基礎用モルタルに海砂を使用しないでください。塩分が含まれていますので、腐食の原因になります。
また、凝結促進剤・減水促進剤・凍結防止剤などを使用しないでください。
 - (2) アルミ部材の表面に付着したモルタルや汚れは、速やかに取除いてください。
 - (3) アルミ部材と、銅板や鉄などの異なる金属が接触しないようにしてください。
必要に応じて、ビニールテープ・塗装などにより絶縁処理をおこなってください。
- ⑥ 扉本体は重いので、二人以上で扱うなど、施工には十分ご注意ください。
- ⑦ 施工後、ねじ類にゆるみやガタツキがないか点検してください。
- ⑧ 商品の外観に有害なキズ、ヘコミ等がないか確認してください。
- ⑨ 開閉作動や施解錠が正常におこなえることを確認してください。

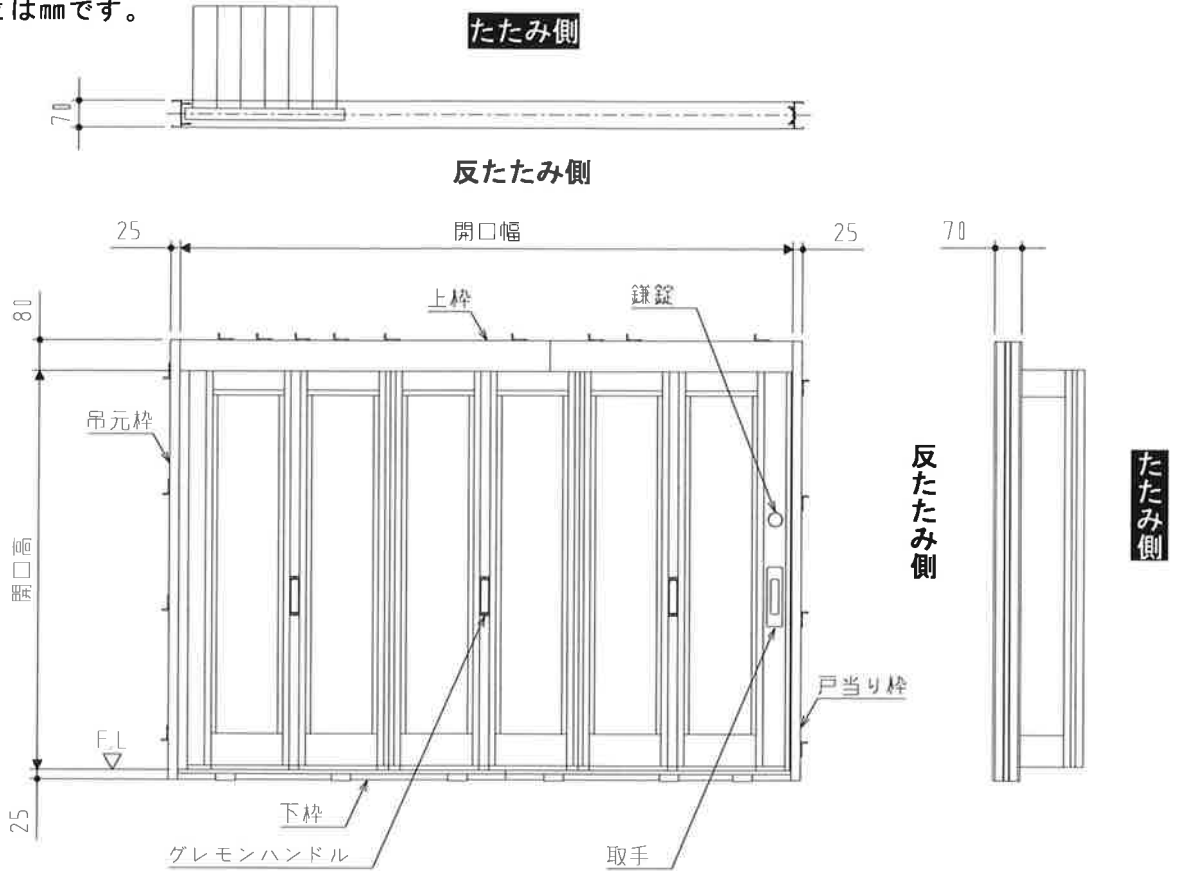
□必要工具類の確認

(+)手動ドライバー	スケール
カッター	水平器
電動インパクト	脚立
ニッパー	足場板
ひも	

□基本納まり

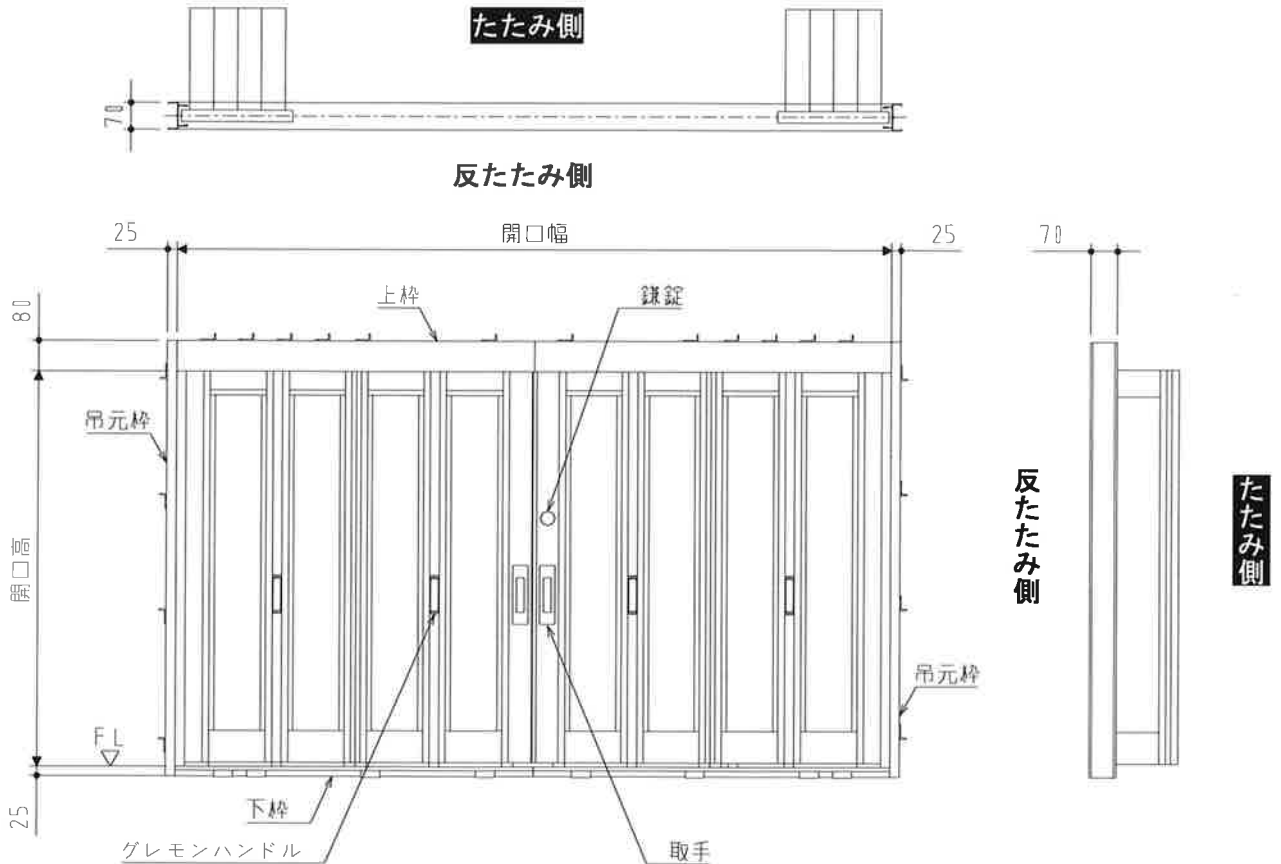
[片引き]

本図は、片引き:右勝手を示す。
 ※寸法単位はmmです。

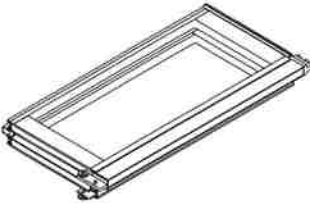


[引分け]

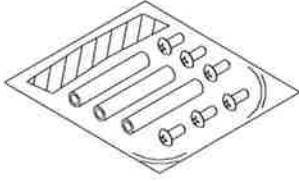
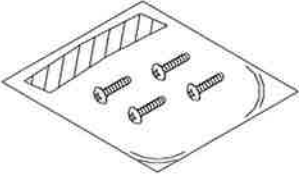
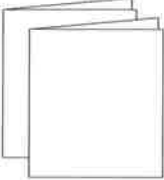

本図は、引分けの場合を示す。
 ※寸法単位はmmです。



□梱包内容

品名	形状	個数	備考
障子		必要数	パネル 2 枚 1 梱包

■同梱部品

連結金具セット		必要数	ヒンジ框に貼付
吊元固定ねじセット		必要数	吊元になる障子の 吊元框に貼付 片引き: 4 本 引分け: 4 本 × 2
取付説明書(扉) 取扱説明書		1セット	吊元になる障子に同梱
ガラス施工説明書 ※ガラスタイプのみ		1	吊元になる障子下框に貼付 ※ガラス施工まで取り外さない てください。

□取り付け手順

施工は、以下の手順でおこなってください。

1 扉の吊込み

- 扉の構成
- 取り外しレールの取り外し
- 障子の吊込み
- 取り外しレールの取り付け
- 障子の連結

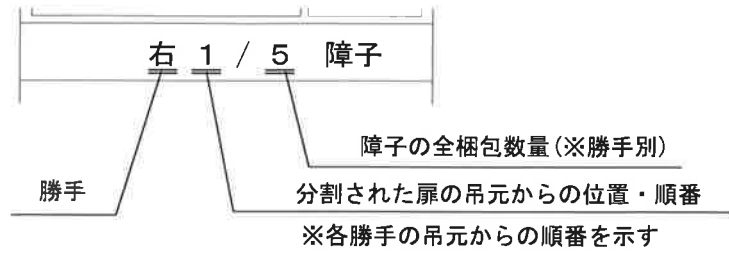
2 吊元ストッパーの調整

3 上枠固定金具位置の調整

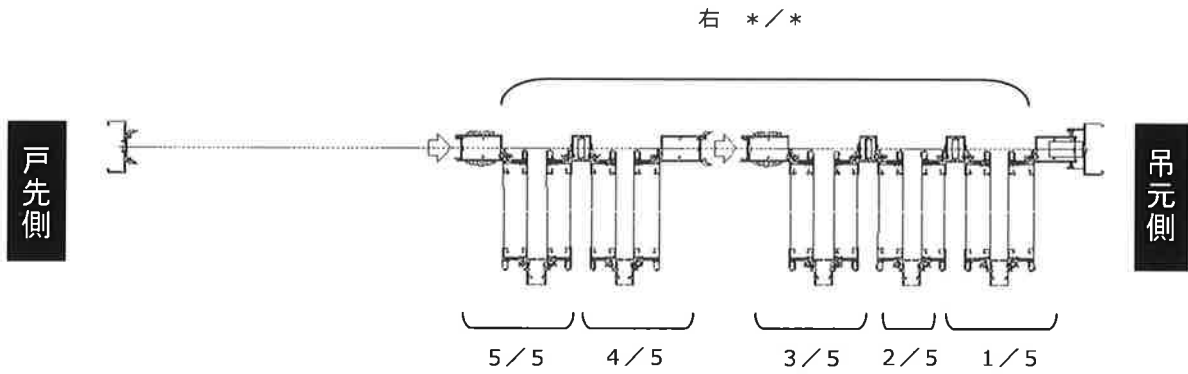
1 扉の吊込み

■扉の構成

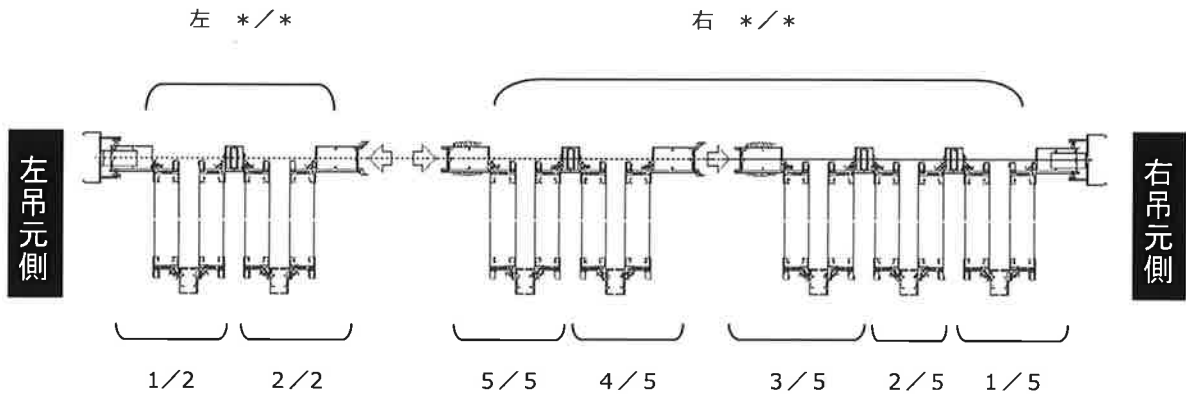
扉は仕様により種類が異なります。梱包箱側面に貼り付けてある梱包表示ラベルにて、扉の配置を確認してください。
吊元枠に近い扉から吊込む仕様になっています。



【片引き右勝手2連の場合の表記例】



【引分け3連 (1+2連) の場合の表記例】

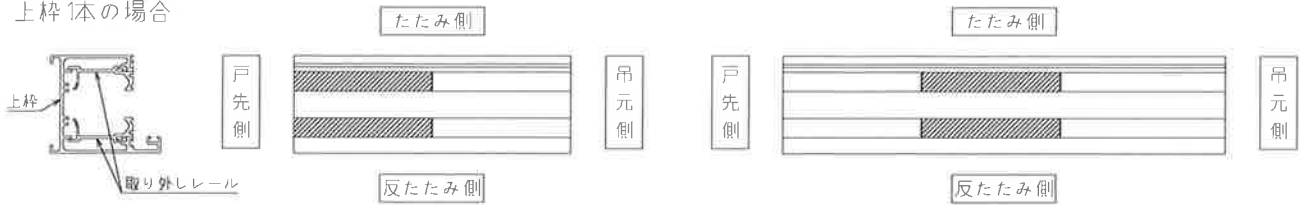


■取り外しレールの取り外し

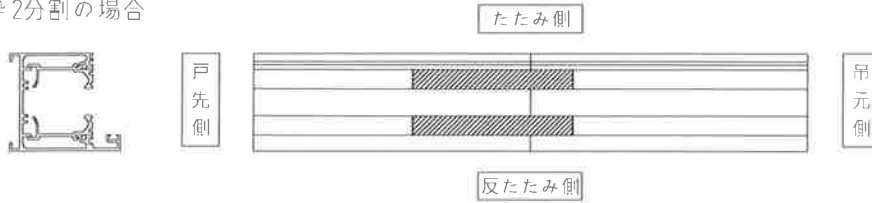
下図に示す、ハッチング部箇所の取り外しレールを取り外してください。

[片引きの場合] 本図は、片引き:右勝手の場合を示す。

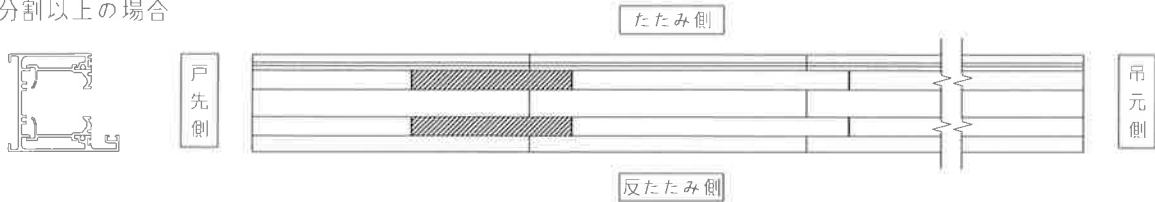
上枠1本の場合



上枠2分割の場合

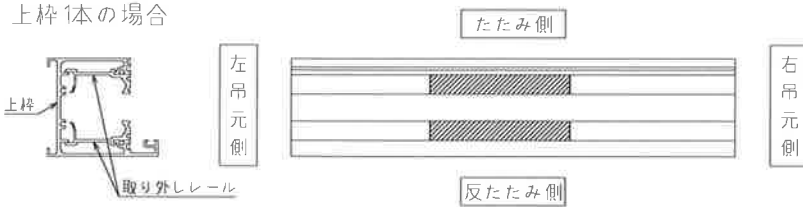


上枠3分割以上の場合

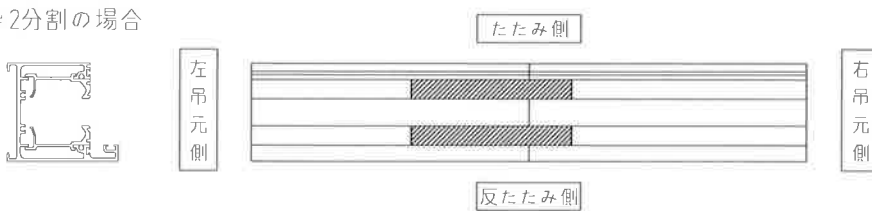


[引分けの場合] 本図は、引分けの場合を示す。

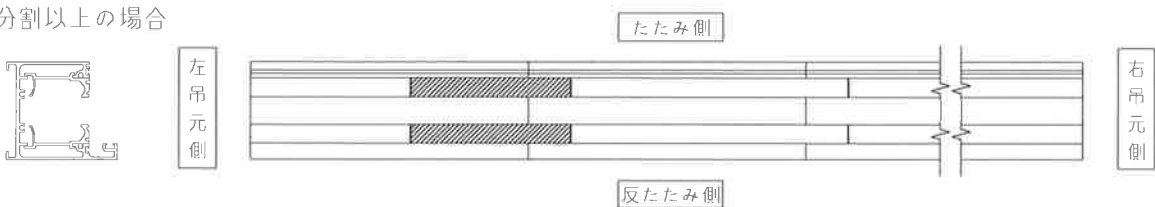
上枠1本の場合



上枠2分割の場合

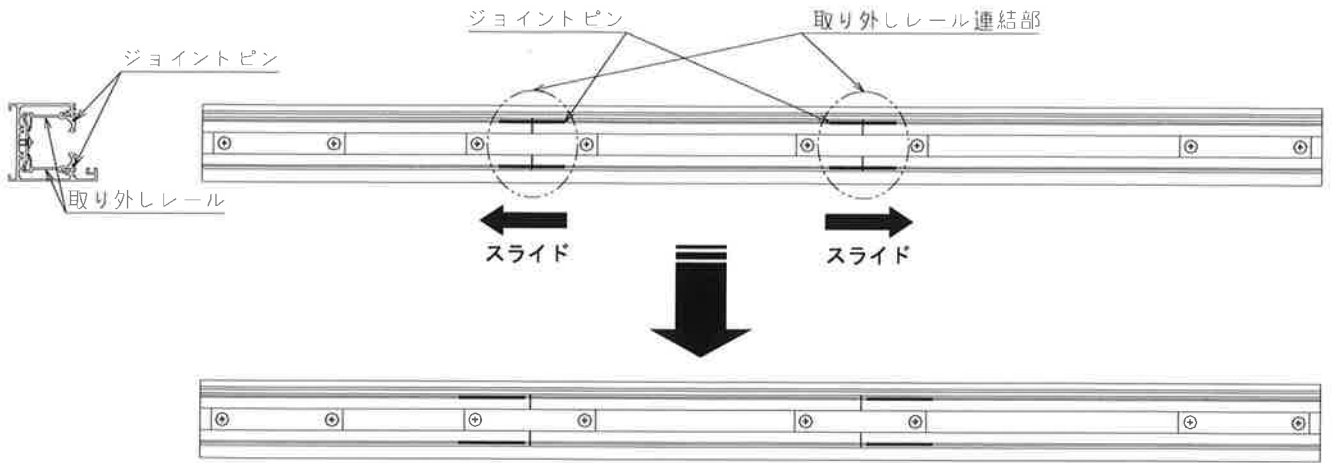


上枠3分割以上の場合



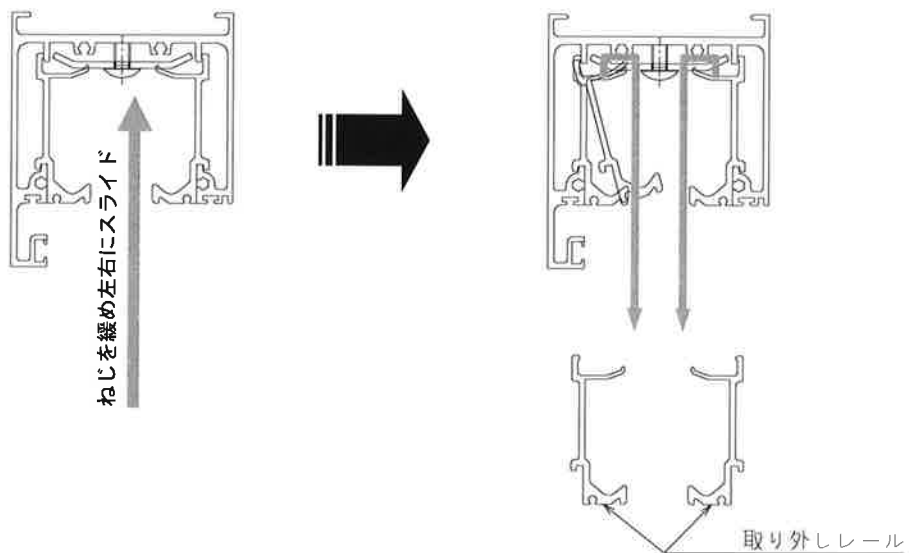
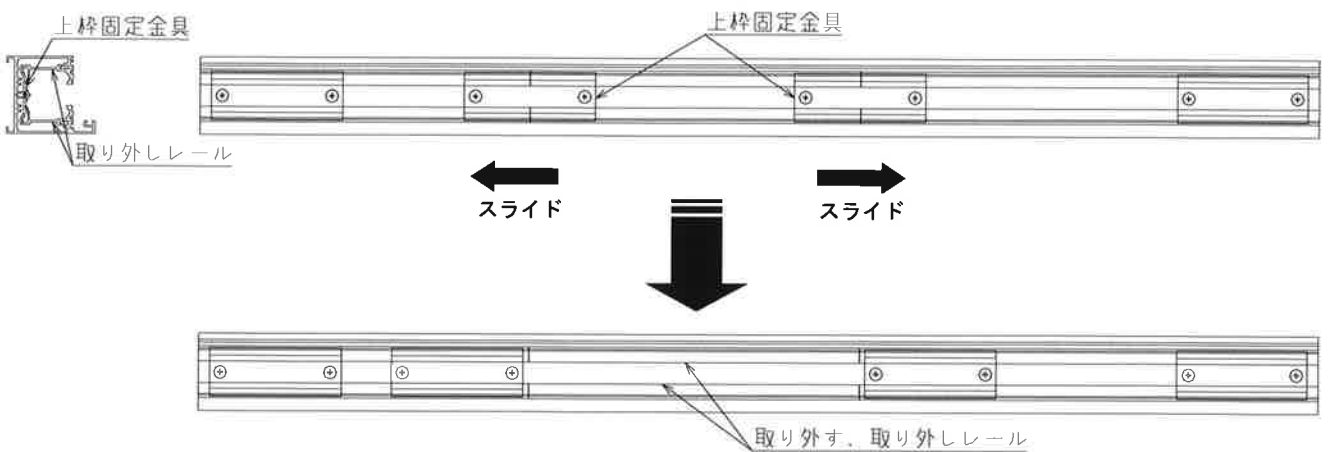
取り外しレールの取り外し

①取り外す、取り外しレール連結部のジョイントピンを取り外さない側にスライドさせてください。



②取り外す、取り外しレールの両端の上枠固定金具を固定しているねじを緩めて、取り外さない側にスライドさせ、取り外しレールを取り外してください。

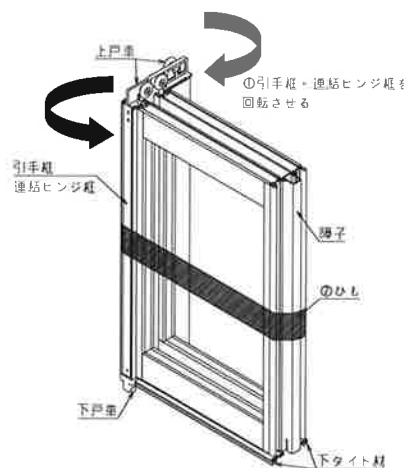
注意 緩めたねじは、再び使用するので、紛失しないように注意してください。



■障子の吊込み

・障子の吊込み準備

- ①引手框・連結ヒンジを横に回転させます。
(上戸車を右図の状態にします)
- ②障子が開かないように適当なひもで固定します。

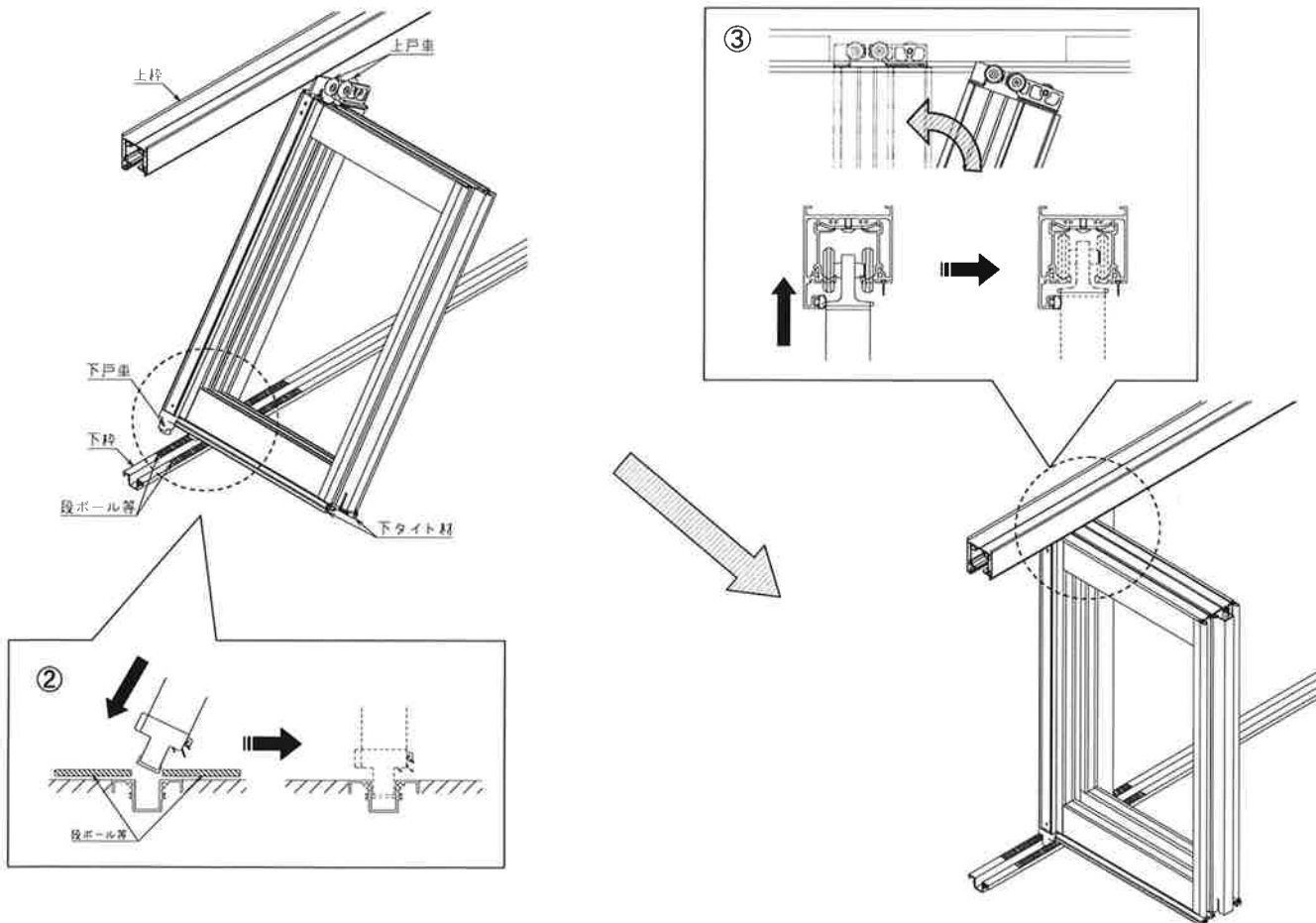


・障子の吊り込み

- ①下レール、土間、床等に段ボールなどを敷き、傷がつかないようにしてください。
- ②折りたたんだ障子を傾けて、下戸車や下枠レール部が傷つかないように少し持ち上げながら、下戸車を下枠レール部に入れます。
※下タイト材についても傷がつかないように注意してください。

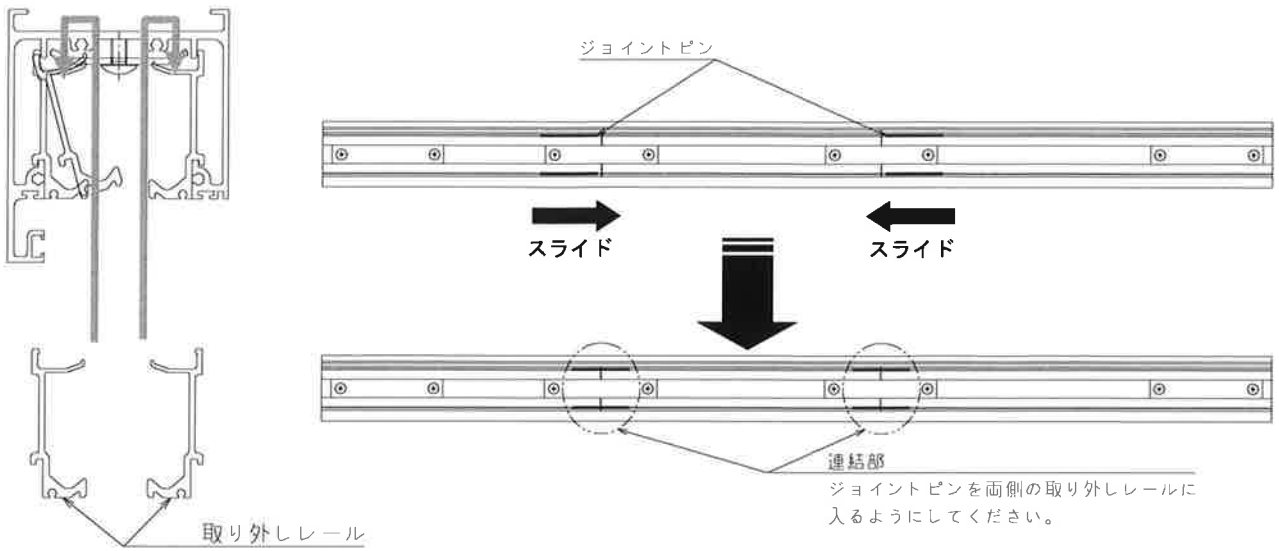
注意 ・下タイト材が傷つくと性能に影響がでます。
障子を起こす際、下タイト材をレール上でスライドさせたりすると下タイト材が切れるおそれがあります。

- ③障子を起こしながら、上戸車を上枠レール部に吊込んでください。
※上枠の小口などで上戸車のローラーを傷つけないように注意してください。
※上タイト材に傷がつかないように注意してください。

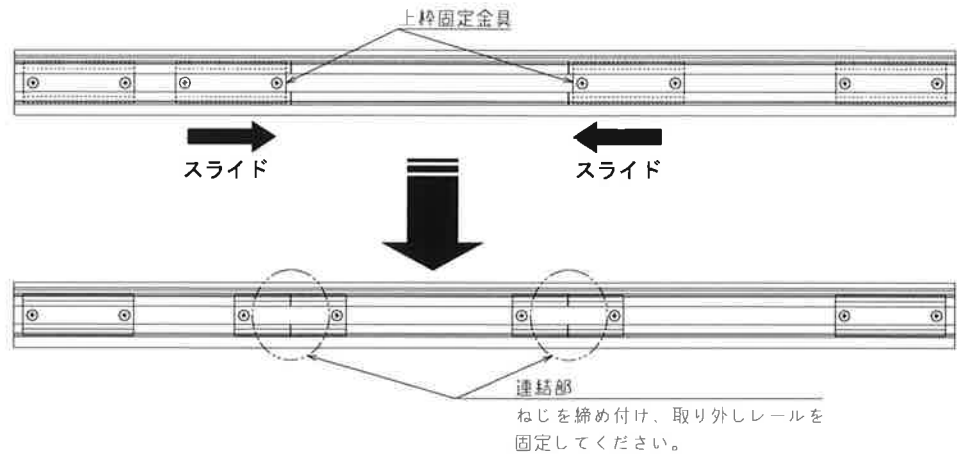


■ 取り外しレールの取り付け

- ① 先ほど取り外した、取り外しレールを元の位置に取り付けます。
 取り付けたら、ジョイントピンをスライドさせ両側の取り外しレールに入るようにしてください。



- ② 上枠固定金具を取り外しレールの連結部が中央になるようスライドさせ、先ほど緩めたねじを締付けてください
 ※レール連結部にすき間ができないよう注意してください

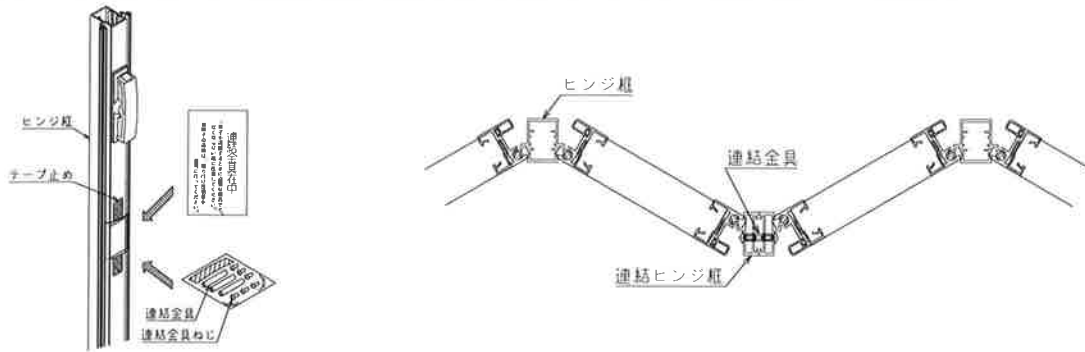


■障子の連結

連結金具・連結金具用ねじは、ヒンジ框にテープ止めされています。

・連結金具

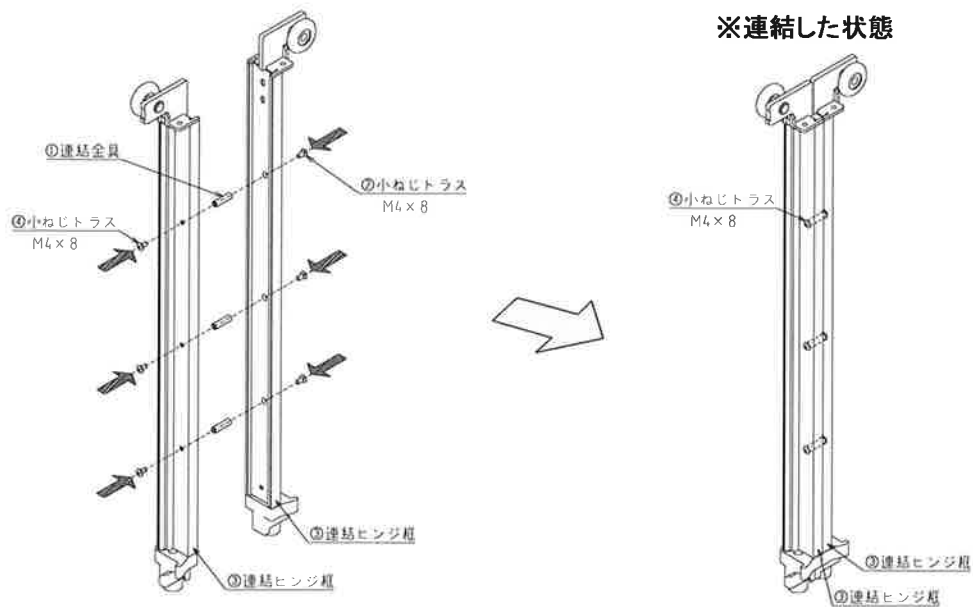
・連結ヒンジ框に設けられた貫通穴を利用し、連結ヒンジ框を連結金具にて連結してください。



・連結方法

連結は、連結する障子同士を半開き状態に行ないます。

- ① 連結ヒンジ框の貫通穴に連結金具を通します。
- ② 連結金具の片側を(+)小ねじトラス M4×8にてねじ止めします。
- ③ 連結する連結ヒンジ框を合わせます。
- ④ ②でねじ止めした反対側の連結金具を(+)小ねじトラス M4×8にてねじ止めします。



2 吊元ストッパーの調整

・吊元側の引手框は、常に固定になります。(図は、吊元框の反たみ側に穴がある場合)

①障子の吊込み、連結ヒンジ框の連結後に全閉状態にしてください。

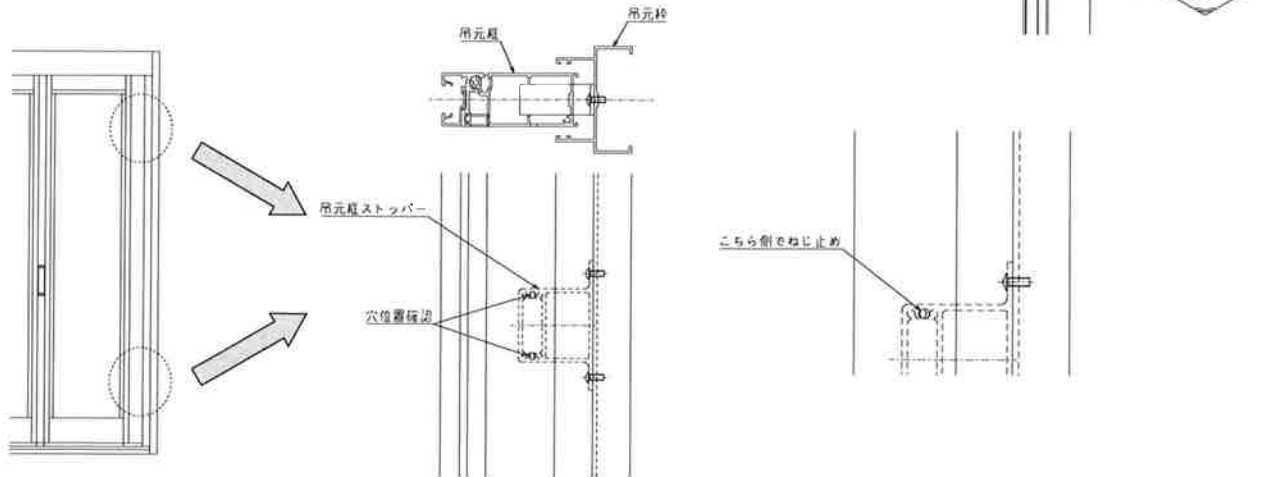
②全閉した時、吊元枠と吊元框の穴の重なり位置を確認してください。

穴の重なりは、縦・横方向確認してください。(上下各2箇所)

※穴は、吊元框の片側にあります。(吊元固定ねじがテープ止めされている側)

横方向(W方向)の穴位置ずれは、穴の重なりが大きい方でねじ止めしてください。

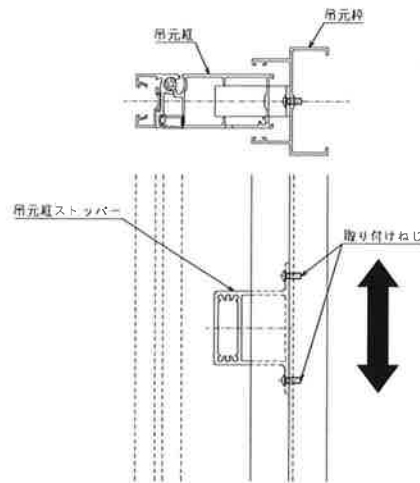
横方向(W方向)の穴位置は、上部・下部共に同じ箇所にねじ止めしてください。



③縦方向の穴が重ならない場合は、吊元枠に取り付けてある、吊元ストッパー取り付けねじをゆるめてください。

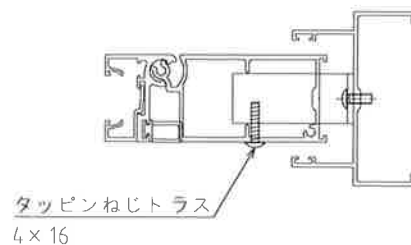
吊元ストッパーを上下にずらし、穴位置を合わせてください。(調整量: ±3mm)

穴位置を合わせましたら、吊元ストッパー取り付けねじを確実に締付けしてください。



④穴位置を合わせたら、(+)タッピンねじトラス 4 × 16 にてねじ止めしてください。

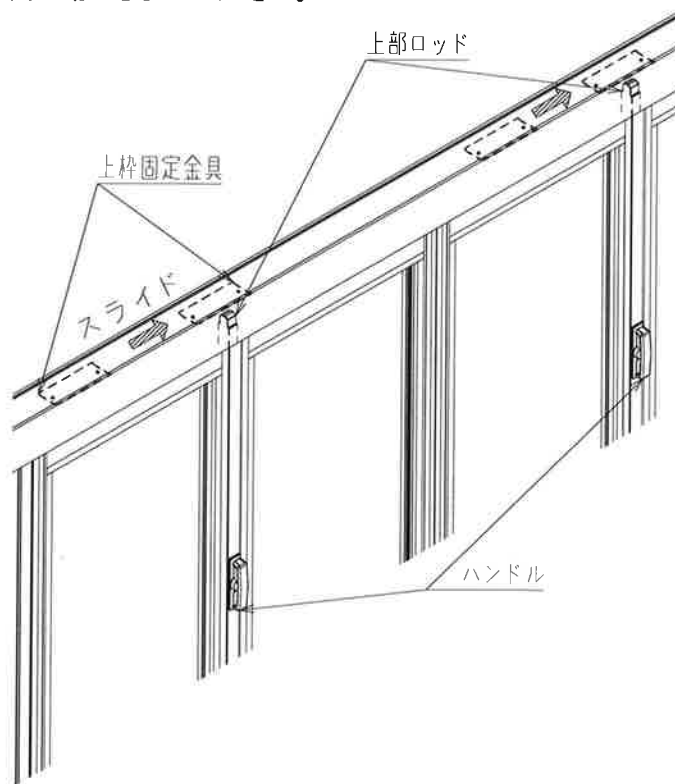
ねじ止めは、上下各2箇所すべて取り付けてください。



3 上枠固定金具位置の調整

①障子を全閉にして、ハンドル上部の上部ロッドの位置へ上枠固定金具をスライドさせて、上枠固定金具を固定してください。

注意 ・緩めたねじは、再び使用するので、紛失しないように注意してください。
・連結部の上枠固定金具は動かさないでください。



□施工後の点検

取り付け作業をしたねじ類の締め具合を確認してください。

本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。

扉の開閉テストをして、開閉に支障がないかを確認してください。

- ・ 開閉がスムーズであること。
- ・ 障子が完全に折りたたむこと。
- ・ グレモンハンドルが180°回転すること。
- ・ 下タイト材が下枠にかかっていること。
- ・ 錠がスムーズにかかること。
- ・ 落しが完全にかかること。



株式会社 TOKO

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町1-100

電話 (0778)62-1122(代)

FAX (0778)62-2234